

社会貢献活動

1. 自然保護活動

「富士山の森」再生活動に社員がボランティア参加
1996年の台風17号は富士山周辺の国有林、民有林にかつてない風倒被害（750ha）をもたらしました。これらの被害箇所の復旧、再生は国有林や民有林を問わず緊急の課題となっています。

「富士山の森」再生活動推進協議会（事務局：地球緑化センター）は、1997年、関東森林管理局東京分局と静岡森林管理署の協力を得て、植林・間伐・自然観察などを目的とした、第1回目の「富士山の森」再生活動を実施しました。沖電気は、沼津地区・東京地区を中心に、第1回目から毎回この活動に、社員がボランティアとして参加しています。1999年度までに、合計9回の活動が実施され、合計約6haにわたって植林や間伐作業が行われました。



植林風景

日光杉並木の保全活動に協力

近年、特別史跡、特別天然記念物の日光杉並木街道の荒廃がひどく、年間100本もの枯死伐採を行う状況です。財団法人日光杉並木保護財団では、民間に杉を売却し、その益金を基に衰弱した並木杉の樹勢回復事業（落雷で炸傷した杉の樹皮を削り、殺菌剤を塗布することや活性剤を注入すること、あるいは露出した根元に土盛をすること）を行う「日光杉並木オーナー制度」を推進しています。

沖電気は、その活動に賛同し、1997年7月より2本の杉のオーナーになり、現在も継続しています。

2. 地域貢献活動

地域と一体の環境保護活動

沖電気高崎地区では地域企業と共同で、環境問題に関する検討会を開催しています。

毎年、主テーマを決め、地域としてどうあるべきかを議論します。1999年度の主テーマは「環境会計」でした。主テーマ以外にも最終処分場やごみ発電所などの環境施設の見学会を行い、年度末に、これらの活動をまとめ提案しています。



見学を行った最終処分場

地域清掃活動

工場周辺道路などの清掃を定期的に行っています。



工場周辺の清掃活動（富岡地区）